

公的医療機関等2025プランについて（地域医療構想関係部分抜粋）

国家公務員共済組合連合会名城病院
<p>【地域において今後担うべき役割】（P12）</p> <p>当院が、地域において今後担うべき役割は、現状と課題を踏まえたポジショニングから見ると、主に次の点である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域医療支援病院としての役割 地域医療に貢献する中核病院として、地域における医療機関との更なる連携強化を図る。（病診・病病連携） ・ 地域における救急医療体制を支える役割 救急告示・二次救急病院として、更なる救急応需体制の強化を図り、地域における救急医療体制を支える病院としての役割を果たす。 ・ 回復期機能（地域包括ケア病棟）を有する急性期病院としての役割 回復期機能（地域包括ケア病棟）を持つ急性期病院として、近隣の急性期病院とさらなる病病連携を図り、超急性期または急性期医療を受けた後の患者の受け皿としての役割を強化する。 ・ 名古屋市中区地域包括ケア構想を支える後方支援病院としての役割 名古屋市中区における地域包括ケア構想を支える後方支援病院として、アセスメント・レスパイト入院患者等の受入れ支援をすすめる。
<p>【今後持つべき病床機能】（P12）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当院は、2015年5月に療養病棟（慢性期機能）47床を地域包括ケア病棟（回復期機能）に転換するとともに、2017年4月に産科を廃止し5階病棟（急性期機能）38床を返上した。 この方向性は、今後、名古屋・尾張中部医療圏の地域医療構想において求められる病床機能に則していることから、引き続きこの病床機能の維持をすすめていく。

【今後の方針】（P13）

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	6	→	6
急性期	273		273
回復期	47		47
慢性期			
(合計)	326		326

【その他の数値目標】（P14）

医療提供に関する項目

- ・ 病床稼働率 : 75.0%
- ・ 紹介率 : 80.0%
- ・ 逆紹介率 : 50.0%

経営に関する項目

- ・ 人件費率 : 50%未満